学校番号	２１２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	生物　（東京書籍）						
副教材等	2027 共通テスト対策【実力完成】直前演習　生物　（株式会社ラーンズ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次に学習した「生物」が、３年の「生物」につながります。全ての単元はつながっていますので、他の単元と関連付けて理解するよう心がけましょう。
生命のしくみを深く理解するためには、「ただ暗記するだけ」では充分ではありません。「しくみを理解するために基本となる知識・法則を覚える事」と「知り得た知識・法則から考える事」の両方が必要になってきます。さまざまな生命のしくみに対して、ただ覚えるだけではなく、「なぜだろう」と思考・判断する力を身に付けられるように努力しましょう。また、副教材(資料集)等を用いて生命のしくみをさらに深く理解するように心がけてください。知れば知るほど、生命の素晴らしさを感じることができるでしょう。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物に関する様々な現象を理解するために必要な知識や、深く探究するために必要な実験の技能を身につけている。	生物に関する様々な現象について、学んだ知識をもとに実験、観察や考察などを行い、文章などの形で表現することができる。	生物に関する様々な現象について興味をもち、授業で学んだ知識などをもとに自ら深く探究を行い、新たに学習を行うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	三編　遺伝情報の発現と発生	・遺伝情報とその発現 ・発生と遺伝子発現 ・遺伝子を扱う技術	a:DNA が遺伝子として働くしくみや，RNA がタンパク質合成に関与しているしくみを理解している。 b:遺伝子の発現調節のしくみについて，調節遺伝子やプロモーター，転写調節領域などの語句を用いて，一連の流れを説明することができる。 c:バイオテクノロジーについて関心をもち，生活にどのように役立っているのかを知ろうとする。	定期考査 小テスト等	定期考査 実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題
二学期	四編　生物の環境応答	・動物の反応 ・動物の行動 ・植物の成長と環境応答	a:動物の行動は，刺激の受容にはじまる一連のしくみによって成立していることを理解している。 b:学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。 c:植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し，身につけようとする。	定期考査 小テスト等	定期考査 実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題
	五編　生態と環境	・個体群と生物群集 ・生態系	a:生態系の構造や働きを，物質循環・エネルギーの流れの観点から考察し，表現することができる。 b:生態系の構造や働きと，その平衡のしくみを理解している。 c:それまでに学習した内容から，人類の活動と自然破壊の関連性について考察し，自然保護・環境保全の意義を実感として理解しようとするとともに，主体的に行動できるような意識をもつ。	定期考査 小テスト等	定期考査 実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題

三学期	総復習	・実践演習	a:生物基礎、生物で身に付けた知識や技能を用いて、生命活動についてより深く理解するとともに、生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深めたり、実験などに関する技能を身につけたりしようとしている。 b:生物学的な事物・現象について、科学的に考察し、表現している。 c:生物学的な事物・現象について主体的に関わり，科学的に探究しようとしている	小テスト等	実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度